**勝興寺/総門**

総門を開けると、勝興寺の正面玄関から鼓堂が見えます。総門の高さはほぼ 9 メートル、幅は 5 メートル以上あります。瓦葺きの切妻屋根で、4 本の太い木造の柱に支えられています。（開放時の）柱と門扉を風雨から守るため、その下に 2 つの小さな瓦屋根が直角に設置されています。大屋根に配された陶製の頂華は、想像上の海の生き物（しゃちほこ）の形をとり、火除けの役目を果たすと信じられています。

高麗門と呼ばれるこの種類の門は、一般的に城郭建築に用いられます。寺院で大きな高麗門が見られるのは珍しいことです。この門は 1840 年に建立されました。1998 年に始まった修繕の際、この門が 1864 年に瓦葺きされたことを示す銘文が刻まれた屋根瓦が発見されています。この門は重要文化財に指定されています。